

# 平成 20 年度 第 4 回八戸市地域公共交通会議資料

## 市民アンケート調査結果の概要

### 目 次

.市民アンケート調査概要 .....	1
.八戸駅沿線アンケート結果.....	3
.鮫・岬台団地線アンケート結果.....	9
.多賀台団地線・八戸ニュータウン線・シルバー病院線・日計線・大橋循環線沿線アンケート結果	15
.南郷区関係路線沿線アンケート結果.....	20
.各調査結果の路線別比較・考察.....	25

## .市民アンケート調査概要

・調査日：H21.1.6～1.21 実施

(H21.1.16 八戸市内ポスティングにて配布、南郷区内は町内会経由で配布)

・調査対象及び回収状況：市内 18 路線沿線市民

配布調査票	調査路線	主なアンケート対象地区	配布回収状況	主たる調査目的
八戸駅線用	・八戸駅線	・根城地区 ・田面木地区 等	配布：500 世帯 (1000 枚) 回収：140 世帯 (222 枚) 世帯回収率：28.0% (枚数回収率 22.2%)	・幹線路線フォローアップ
鮫・岬台団地線用	・鮫線 ・岬台団地線	・岬台団地 ・白銀台団地 等	配布：930 世帯 (1860 枚) 回収：171 世帯 (286 枚) 世帯回収率：18.4% (枚数回収率 15.4%)	・幹線路線フォローアップ
一般路線用	・多賀台団地線 ・八戸ニュータウン線	・多賀台 3 丁目 ・八戸ニュータウン(白山台) 等	配布：1307 世帯 (2614 枚) 回収：307 世帯 (487 枚) 世帯回収率：23.5% (枚数回収率 18.6%)	・準幹線モニタリング
	・シルバー病院線 ・日計線 ・大橋循環線	・河原木字日計 ・河原木字八太郎小 ・石堂一丁目 等		・利用動態変化が予想される地区のモニタリング
南郷区関係路線用	・荒谷線 ・市ノ沢線 ・大野線	・南郷区内路線バス沿線	配布：502 世帯 (1004 枚) 回収：124 世帯 (202 枚) 世帯回収率：24.7% (枚数回収率 20.1%)	・市単独補助路線のモニタリング

・調査項目

大項目	調査項目	八戸駅線	鮫・岬台団地線	多賀台団地線 八戸NT線 シルバー病院線 日計線 大橋循環線	南郷区 関係路線
属性	職業、年齢、居住地、駅 やバス停までの距離、 車・バイクの所有状況、 目的				
日常の外出状 況	外出目的・目的地・外出 時間・移動手段・バスの 利用状況・目的				
バスを利用す る理由・利用 しない理由	バスの利用理由 バスの非利用理由				
自宅近くのバ ス路線の認 知・評価と改 善方法	バスサービスの認知状況				
	バス乗車時に困った点	-	-		
	共同運行認知状況 共同運行への評価 共同運行によるバス利用 機会増加		-	-	-
	等間隔運行認知状況 等間隔運行への評価 等間隔運行によるバス利 用機会増加	-		-	-
	現在のバスサービス水準 に対する満足度と改善方 法				-
バス路線の維 持方法	バス路線の維持方法	-	-	-	
公共交通改善 方法	バスサービスの改善方法 自由意見				

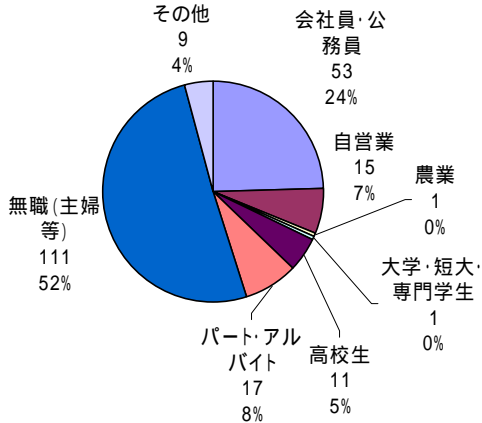
## 八戸駅沿線アンケート結果

- ・回収数 220人（回収率 22.0% ： 配布 1,000票）  
（封筒ベース回収 139通 ： 回収率 27.8%）

### 個人属性

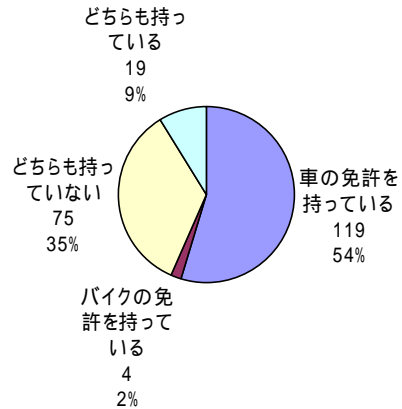
#### 【職業】(N=218)

無職（主婦等） 会社員・公務員の利用が多い。



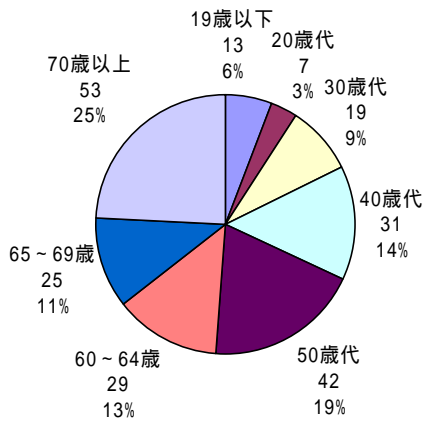
#### 【運転免許の有無】(N=217)

車の免許を持っている人が約半分である。



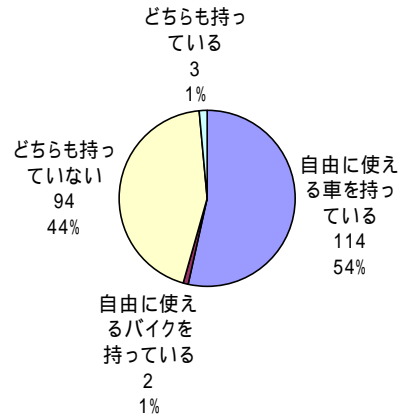
#### 【年齢】(N=219)

70歳以上と50歳代が多い。



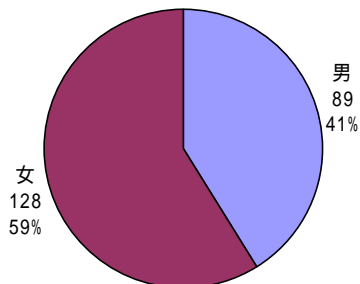
#### 【自由に使える自家用車の有無】(N=213)

自由に使える車を持っている人が約半分である。



#### 【性別】(N=217)

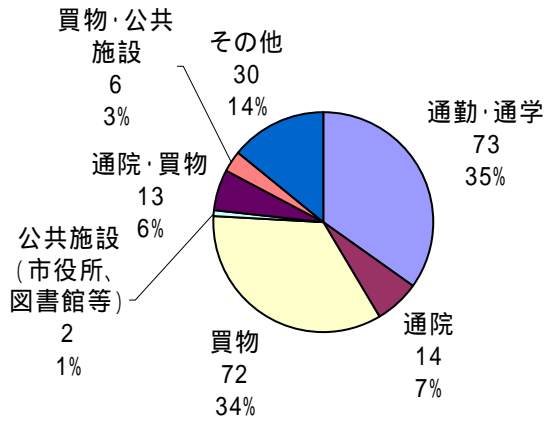
女性が過半数を占める。



# 1. 日常の外出状況について

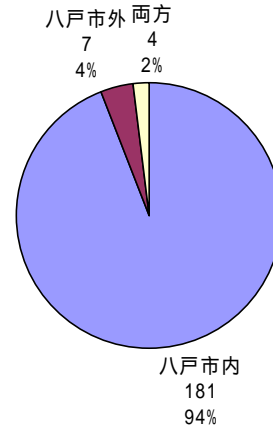
質問 1-1 最も多い外出目的は何ですか (N=210)

通勤・通学、買物が多い。複合目的もある。



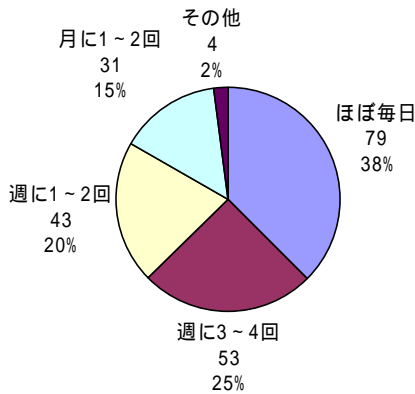
質問 1-2 外出の主な目的地はどこですか (N=192)

八戸市内がほとんどである。



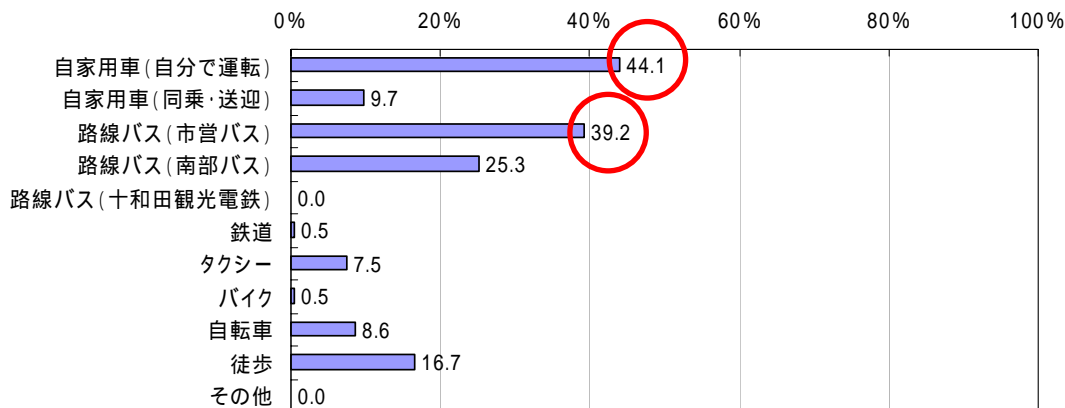
質問 1-3 週に何回くらい外出しますか (N=210)

ほぼ毎日が 38%、週に 3~4 回が 25%である。

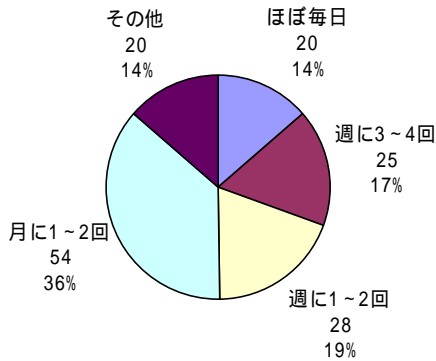


質問 1-4 外出時の主な交通手段を教えてください (複数回答) (N=168)

自家用車の次に路線バスが多い。

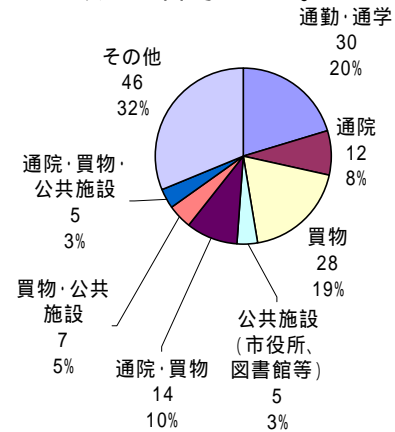


質問 1-5 利用回数をお教えてください (N=147)  
 「月に1~2回」が36%で多い。



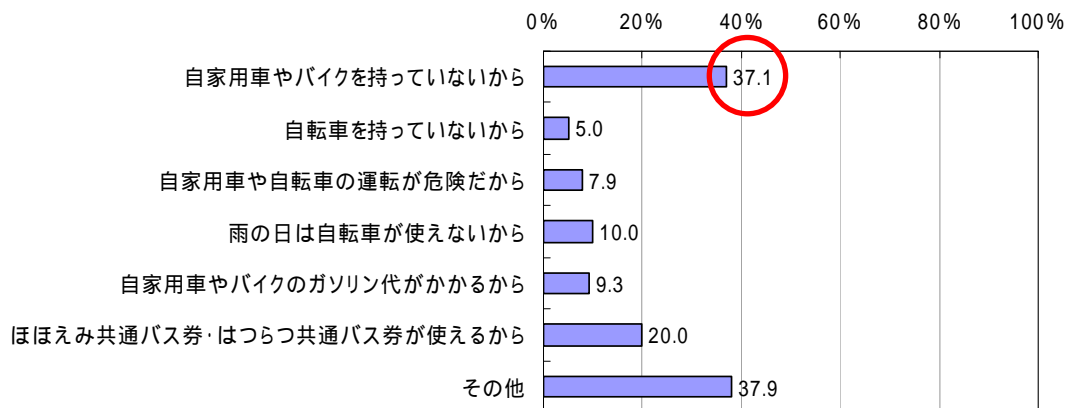
質問 1-6 利用するときの目的をお教えてください (N=147)

バスの利用目的は「通勤・通学、買物」が多い。  
 その他は3つ以上の目的である。

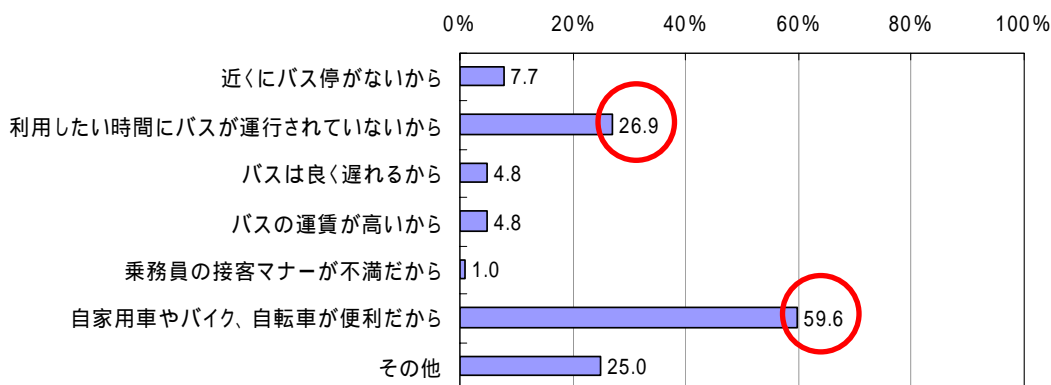


## 2.バスを利用する理由・利用しない理由について

質問 2-1 バスを使うとお答えの方について、その理由についてお伺いします。(複数回答)(N=140)  
 「自家用車やバイクを持っていない」との回答が最大である。



質問 2-2 バス以外を使うとお答えの方について、その理由についてお伺いします。(複数回答)(N=104)  
 「自家用車やバイク、自転車が便利だから」との回答が過半数である。

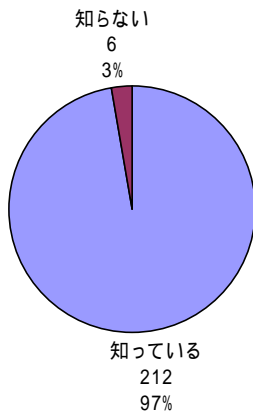


### 3.あなたの自宅近くを通る路線バスについて

質問 3-1 自宅近くを通る路線バスに関して、次のことについて知っていますか

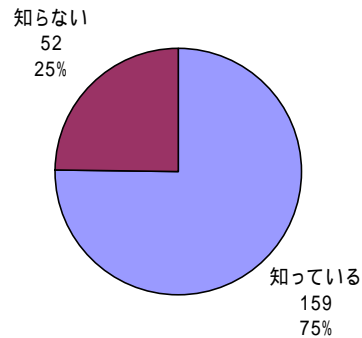
#### 【停留所の場所】(N=218)

停留所の場所はほとんどの人が知っている。



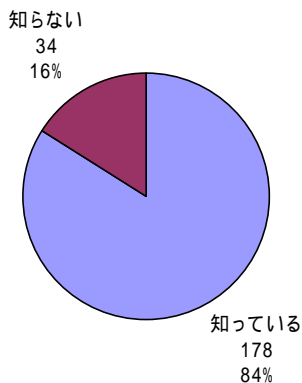
#### 【中心街までの運賃】(N=211)

75%の人が運賃を知っている。



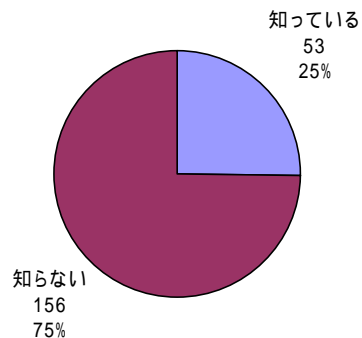
#### 【バスの行き先】(N=212)

バスの行先はほとんどの人が知っている。



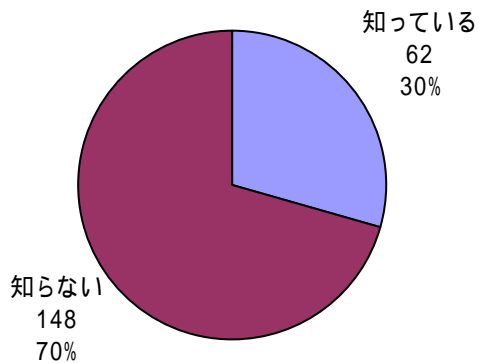
#### 【バスの終発時間】(N=209)

終発時間は知らない人が多い。



#### 【バスの始発時間】(N=210)

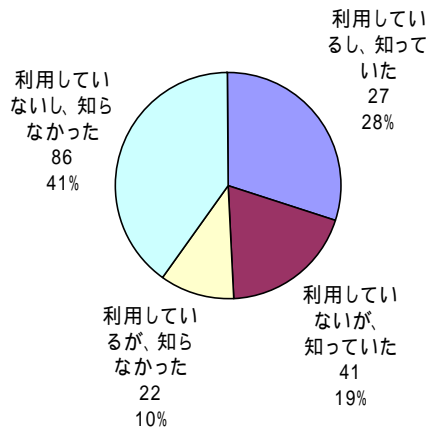
始発時間は知らない人が多い。



質問 3-2 平成 20 年 4 月より市営バスと南部バスで共同運行を行い、八戸駅と中心街の間を等間隔で運行し、中心街方面に行くバスは、一部の経路を除き、八戸駅「1 番のりば」から発車するようになりましたが、このことは御存知でしたか？

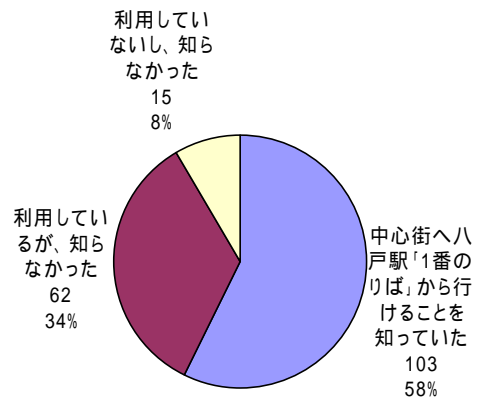
【等間隔運行】(N=213)

等間隔運行を知っている人が 47%である。



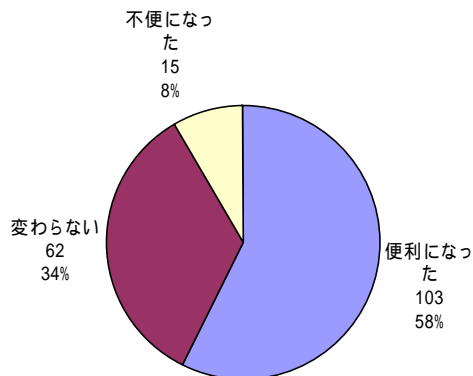
【八戸駅線の乗り場の統一】(N=108)

のりばの統一を知っていた人は 58%である。



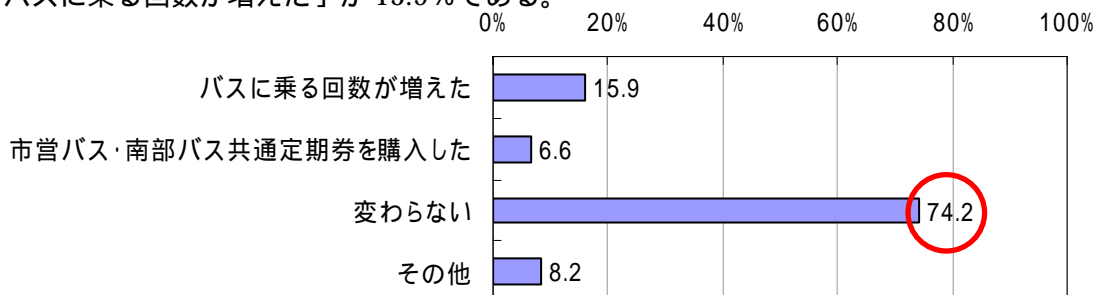
質問 3-3 共同運行により便利になりましたか？ (N=180)

「便利になった」との回答が 58%である



質問 3-4 共同運行化後、バス利用に関して変化がありますか？ (複数回答)(N=182)

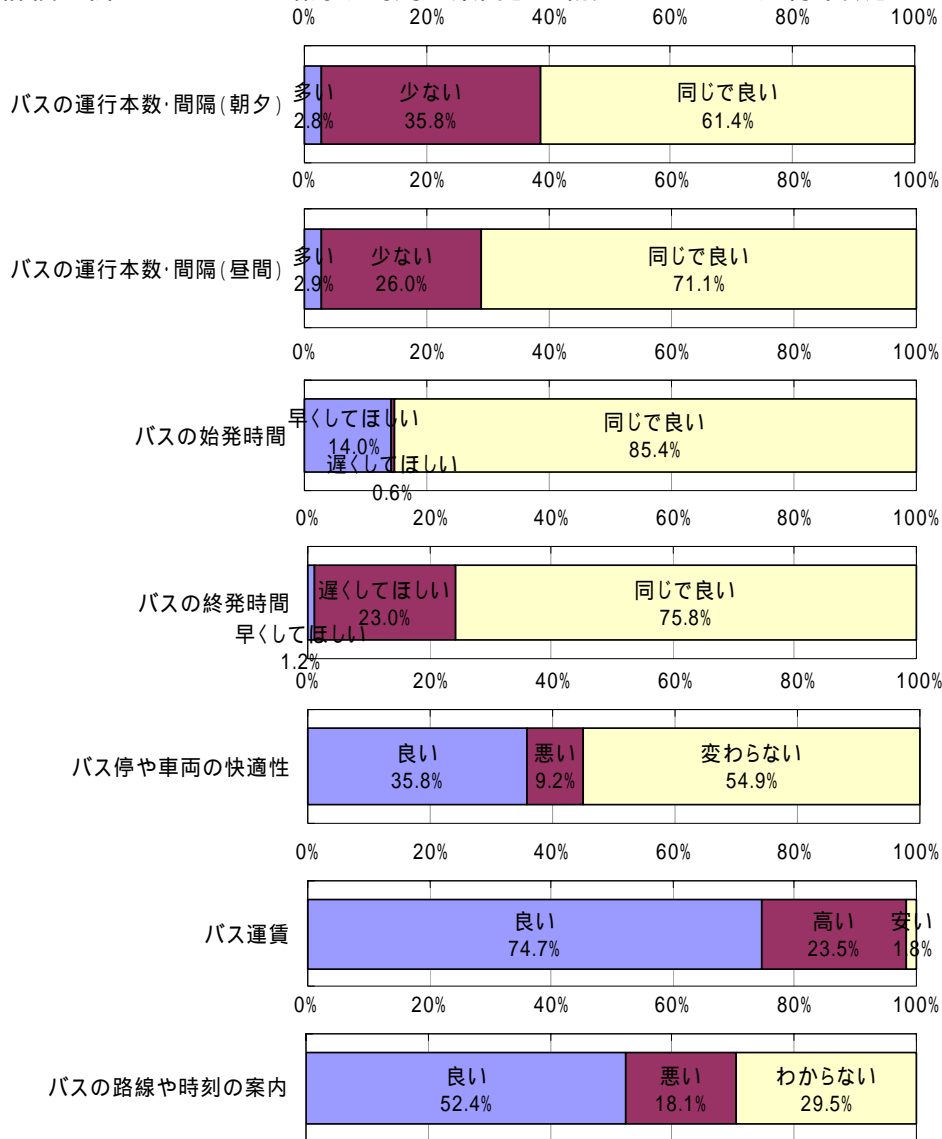
「バスに乗る回数が増えた」が 15.9%である。





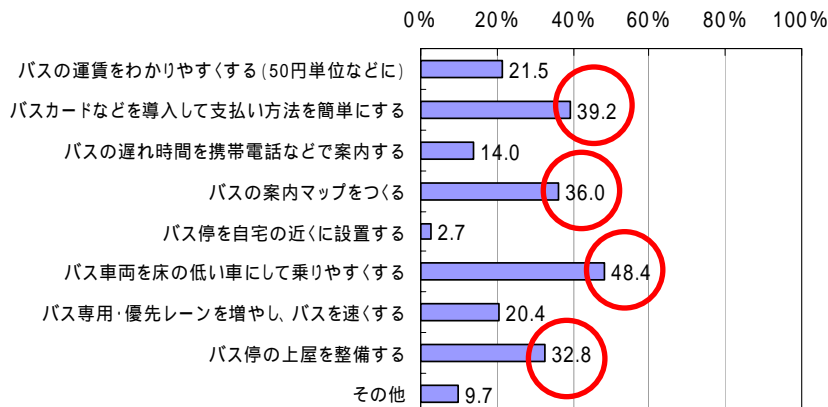
#### 4.あなたの自宅近くを通る路線バスの評価と改善案について

質問4 自宅近くを通るバス路線のサービスについての評価と改善方法についてお伺いします  
 相対的に評価が低いのは「バス路線や時刻の案内」と朝夕の「バスの運行本数」などである。



質問5 バスの改善策として良いと思うものを3つまで選んでください(複数回答)(N=186)

多い回答は「低床車の導入」「支払い方法を簡単に」「バスの案内マップ」「バス停上屋整備」などである。



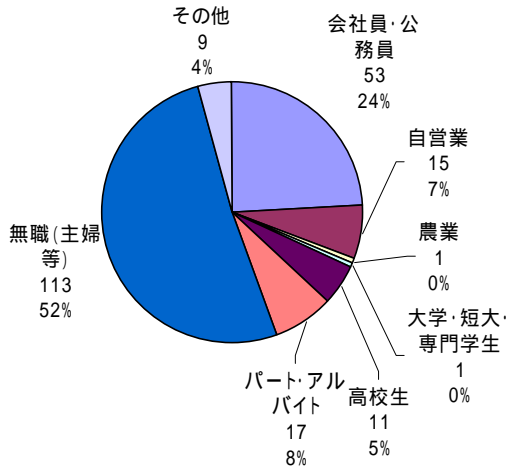
・鮫・岬台団地線アンケート結果

・回収数 260人（回収率 26.0% ： 配布1,000票）  
 （封筒ベース回収 172通 ： 回収率 34.4%）

個人属性

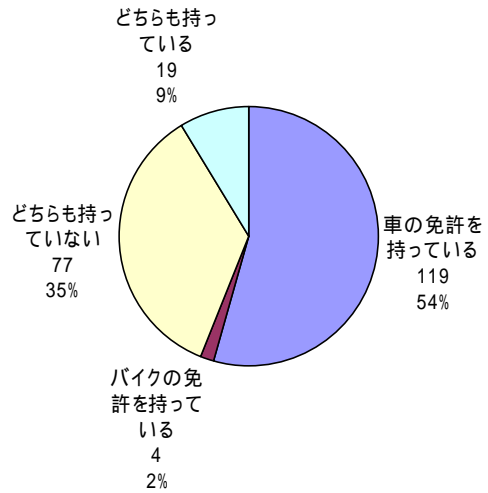
【職業】(N=220)

無職（主婦等） 会社員・公務員の利用が多い。



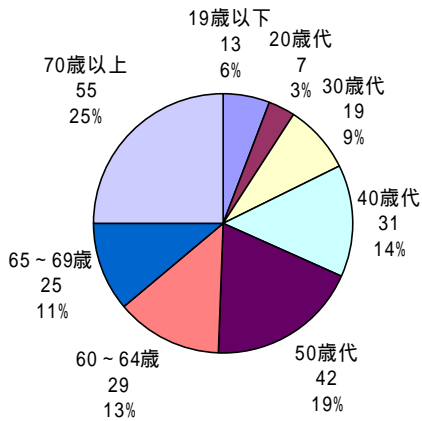
【運転免許の有無】(N=219)

車の免許を持っている人が約半分である。



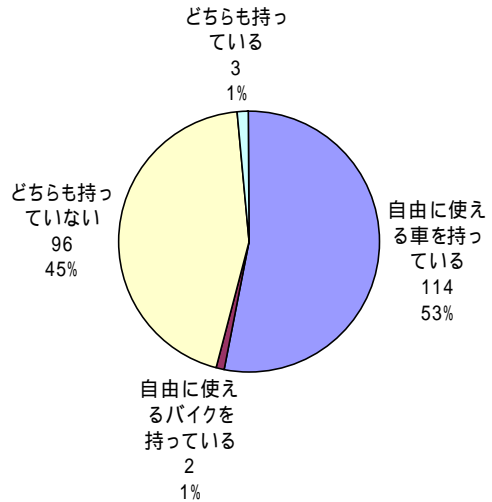
【年齢】(N=221)

70歳以上と50歳代が多い。



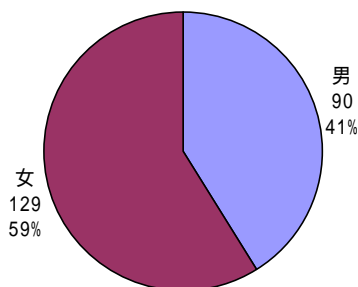
【自由に使える自家用車の有無】(N=215)

自由に使える車を持っている人が約半分である。



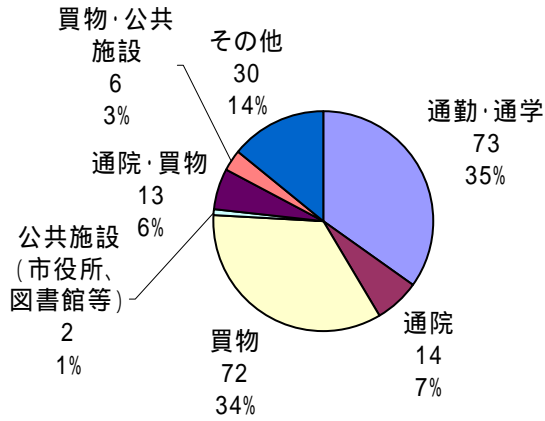
【性別】(N=219)

女性が過半数を占める。



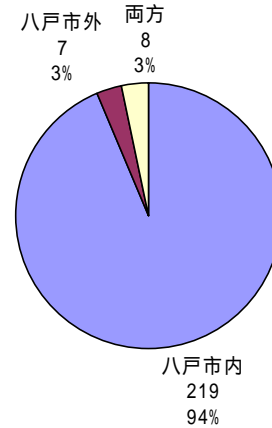
### 1. 日常の外出状況について

質問 1-1 最も多い外出目的は何ですか (N=249)  
 通勤・通学、買物が多い。複合目的もある。



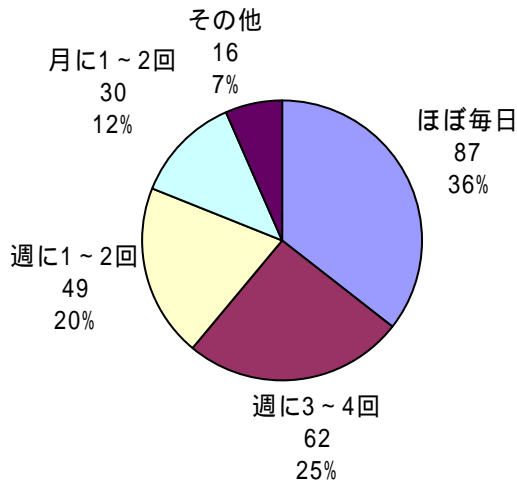
質問 1-2 外出の主な目的地はどこですか (N=234)

八戸市内がほとんどである。



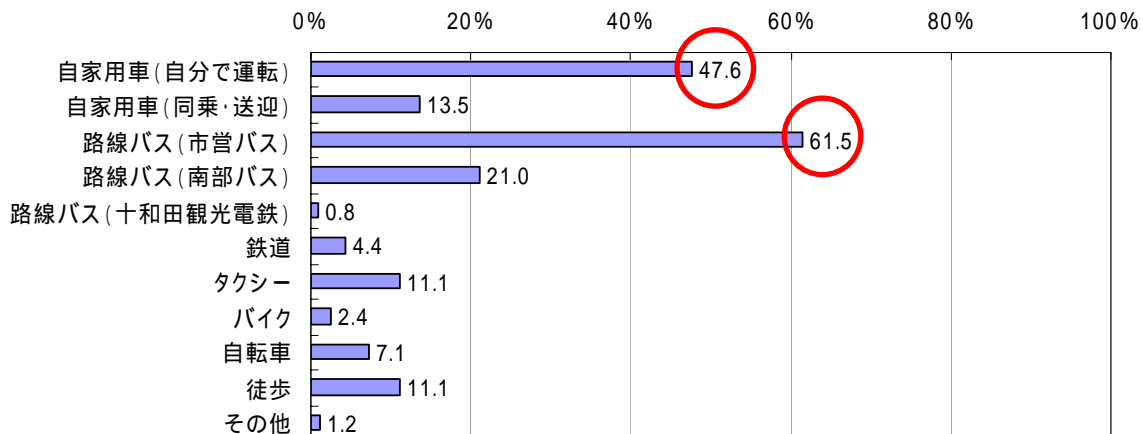
質問 1-3 週に何回くらい外出しますか (N=244)

ほぼ毎日が 36%、週に 3~4 回が 25%である。

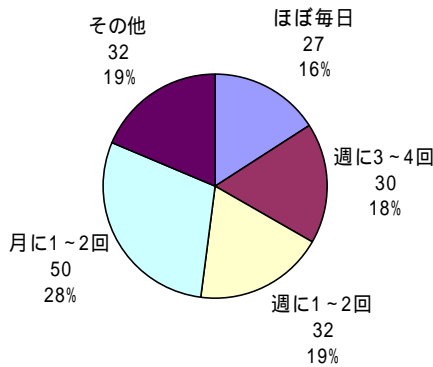


質問 1-4 外出時の主な交通手段を教えてください (複数回答) (N=252)

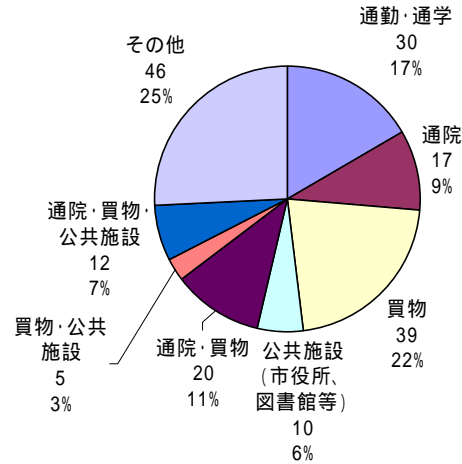
路線バス (市営バス) の次に自家用車が多い。



質問 1-5 利用回数をお教えてください (N=171)  
 「月に1~2回」が28%で多い。

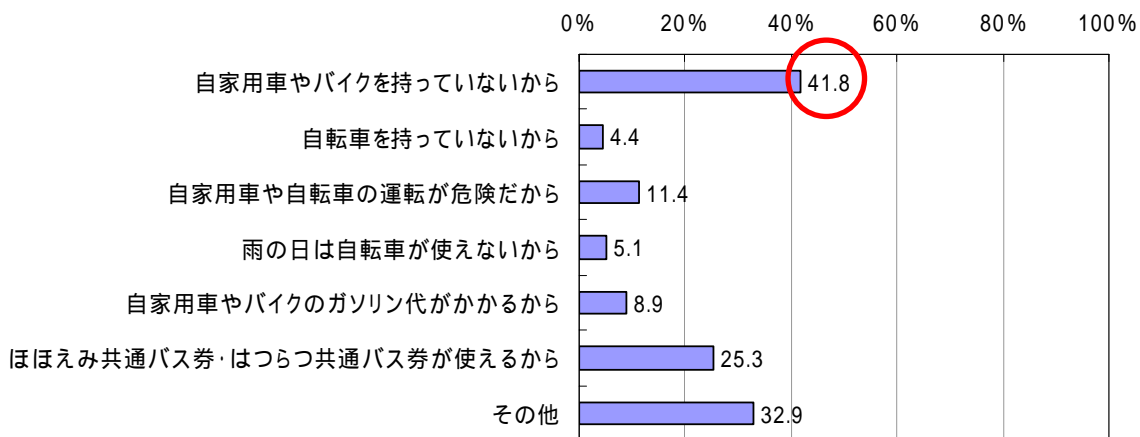


質問 1-6 利用するときの目的をお教えてください (N=147)  
 バスの利用目的は「通勤・通学、買物」が多い。  
 その他は3つ以上の目的である。

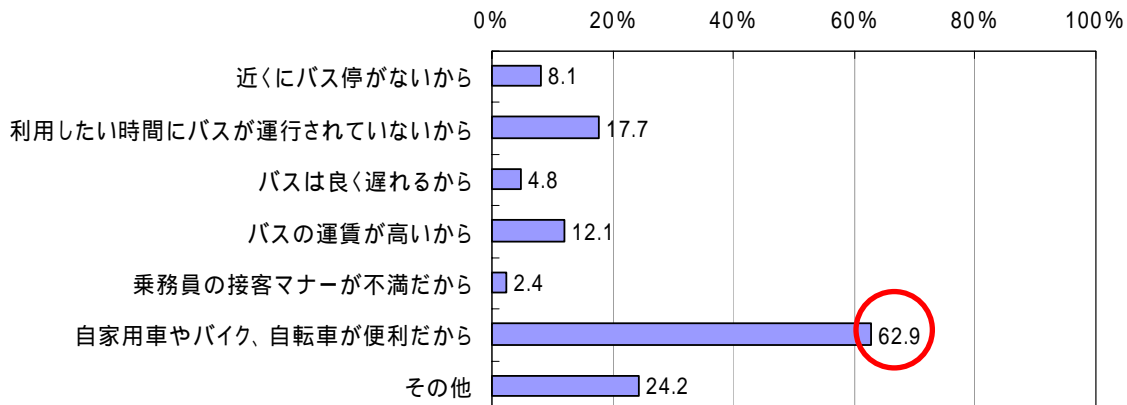


## 2.バスを利用する理由・利用しない理由について

質問 2-1 バスを使うとお答えの方について、その理由についてお伺いします。(複数回答)(N=158)  
 「自家用車やバイクを持っていない」との回答が最大である。



質問 2-2 バス以外を使うとお答えの方について、その理由についてお伺いします。(複数回答)(N=124)  
 「自家用車やバイク、自転車が便利だから」との回答が過半数である。

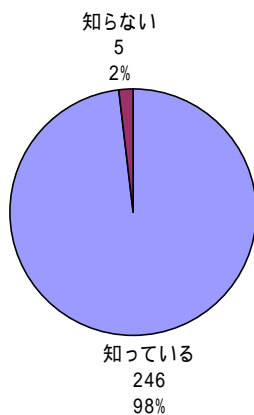


### 3.あなたの自宅近くを通る路線バスについて

質問 3-1 自宅近くを通る路線バスに関して、次のことについて知っていますか

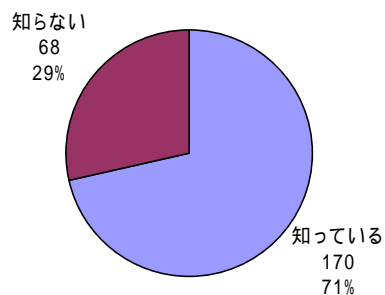
#### 【停留所の場所】(N=251)

停留所の場所はほとんどの人が知っている。



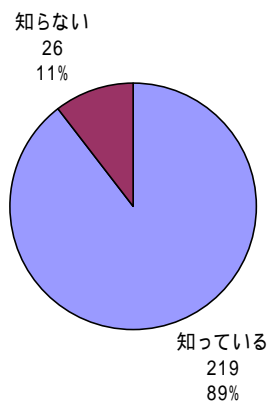
#### 【中心街までの運賃】(N=238)

71%の人が運賃を知っている。



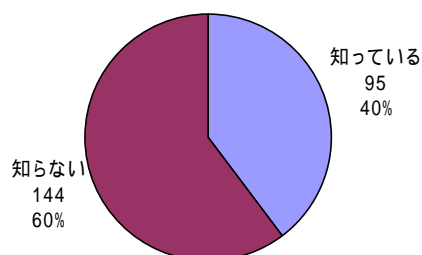
#### 【バスの行き先】(N=245)

バスの行先はほとんどの人が知っている。



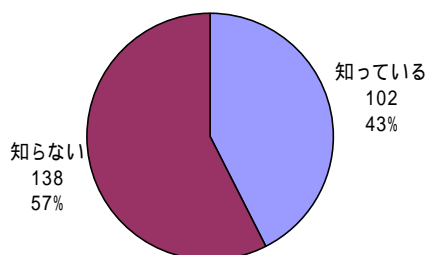
#### 【バスの終発時間】(N=239)

終発時間は知らない人が多い。

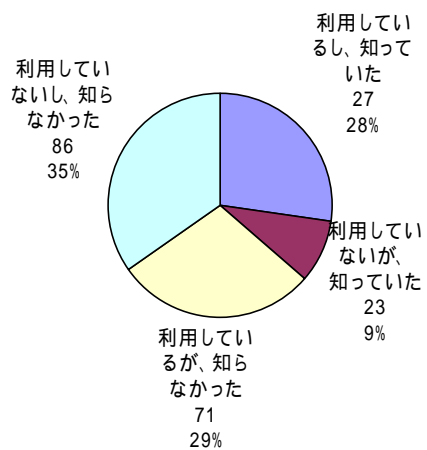


#### 【バスの始発時間】(N=240)

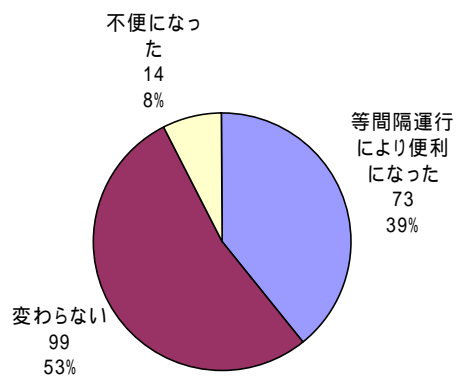
始発時間は知らない人が多い。



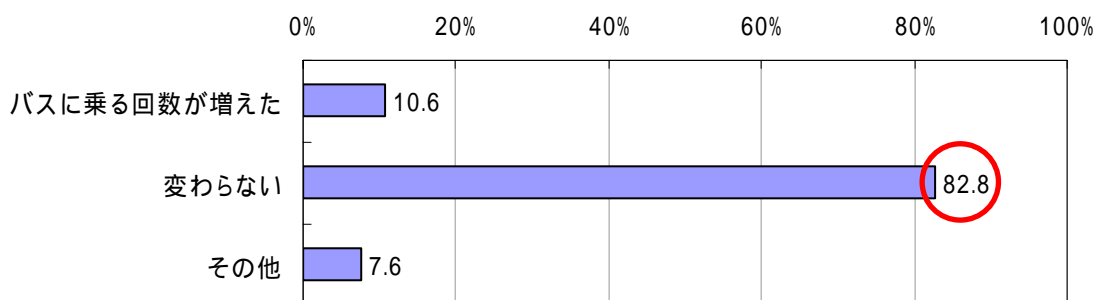
質問 3-2 平成 20 年 4 月より中心街方面に行くバスが等間隔で運行するようになりましたが、このことは御存知でしたか？ (N=247)  
 等間隔運行を知っている人が 37%である。



質問 3-3 等間隔運行により便利になりましたか？ (N=186)  
 「便利になった」との回答が 39%である。

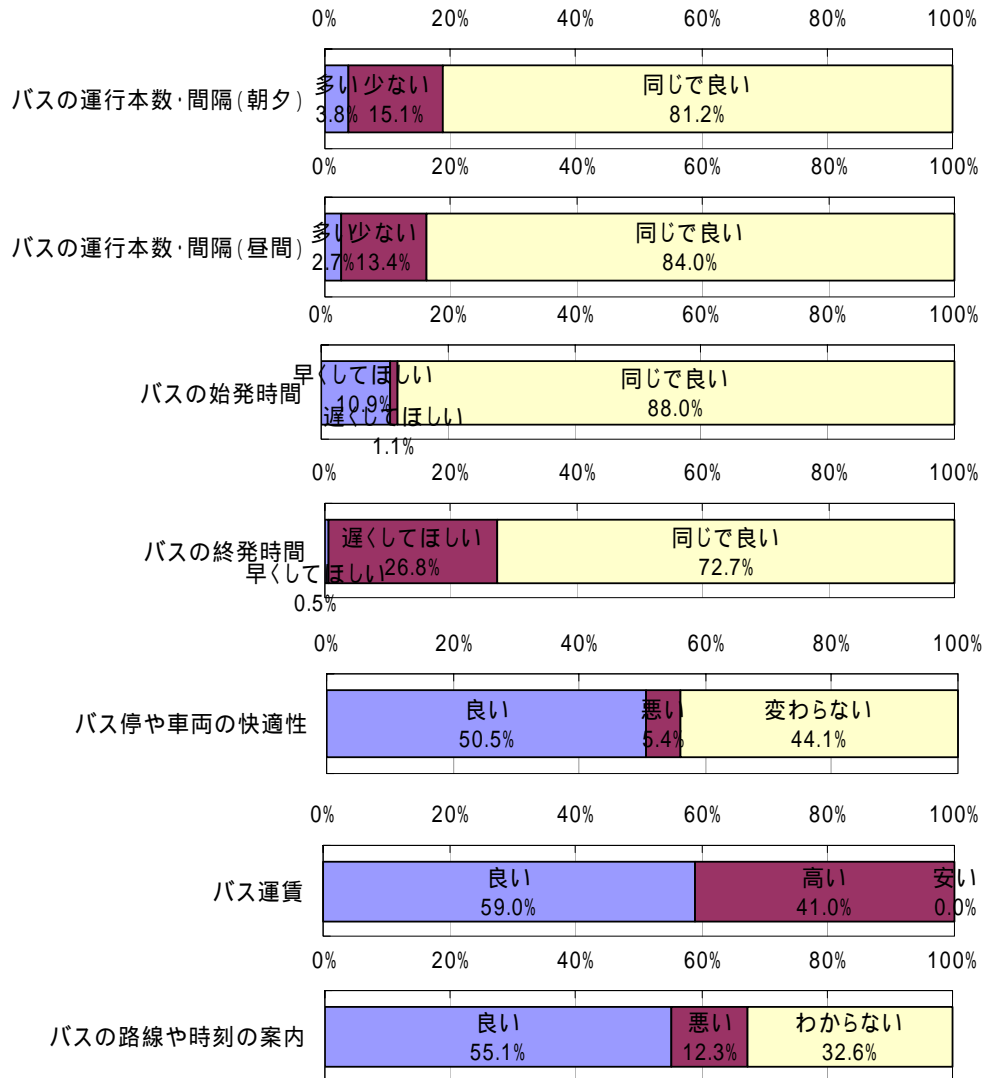


質問 3-4 共同運行化後、バス利用に関して変化がありますか？ (複数回答)(N=198)  
 「バスに乗る回数が増えた」が 10.6%である。

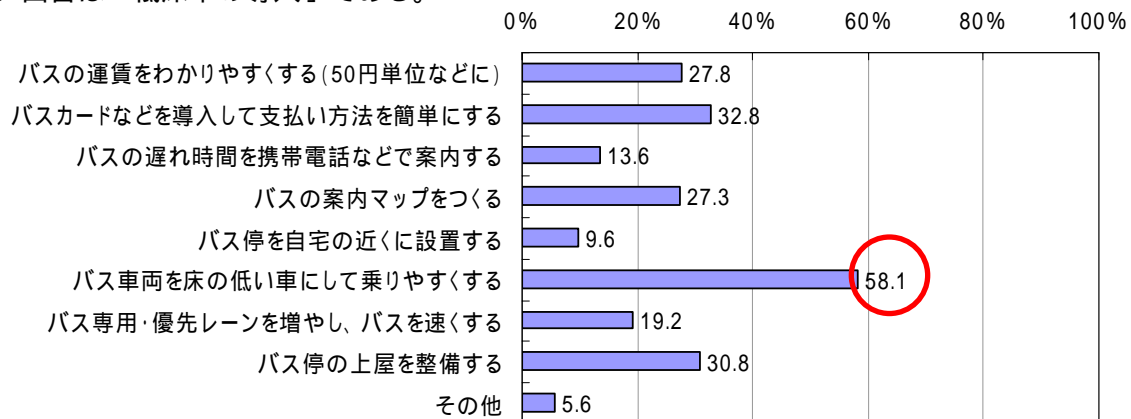


#### 4.あなたの自宅近くを通る路線バスの評価と改善案について

質問4 自宅近くを通るバス路線のサービスについての評価と改善方法についてお伺いします  
 相対的に評価が低いのは「バス運賃」と「バスの終発時間」などである。



質問5 バスの改善策として良いと思うものを3つまで選んでください(複数回答)(N=198)  
 多い回答は「低床車の導入」である。



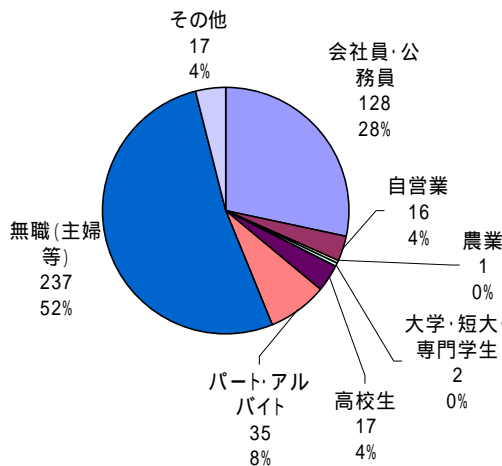
・多賀台団地線・八戸ニュータウン線・シルバー病院線・日計線・大橋循環線沿線アンケート結果

・回収数 461人（回収率 46.1% : 配布 1,000票）  
 （封筒ベース回収 291通 : 回収率 58.2%）

個人属性

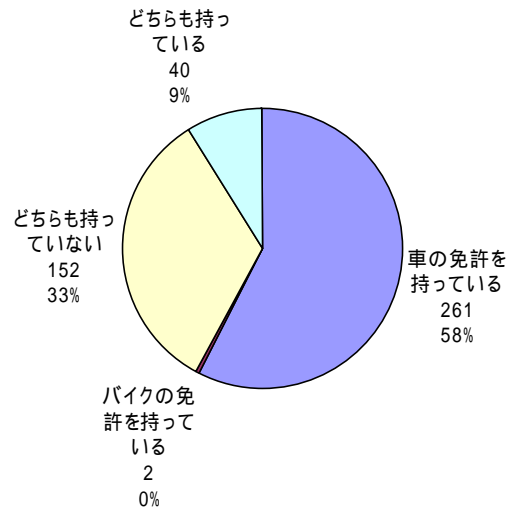
【職業】(N=453)

無職（主婦等）会社員・公務員の利用が多い。



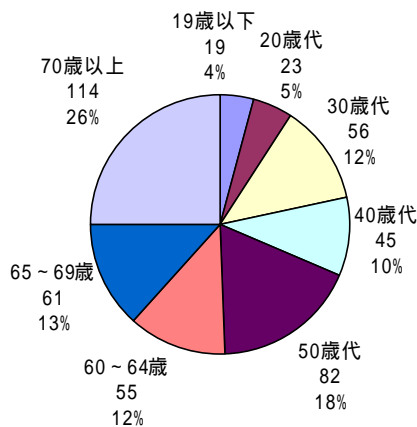
【運転免許の有無】(N=455)

車の免許を持っている人が過半数である。



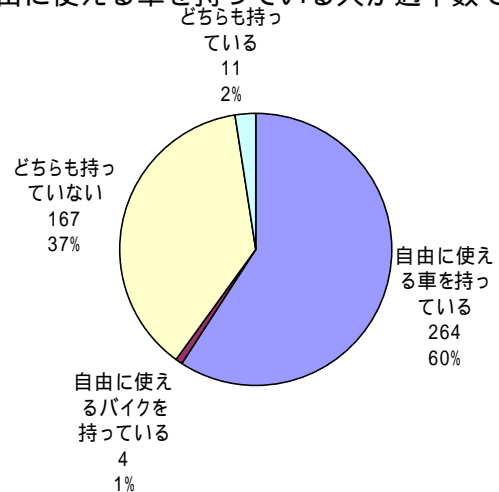
【年齢】(N=455)

70歳以上と50歳代が多い。



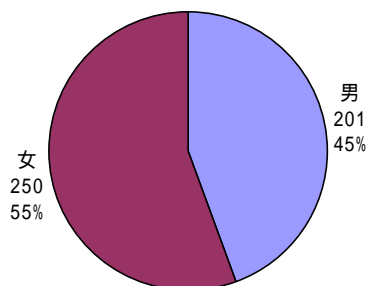
【自由に使える自家用車の有無】(N=446)

自由に使える車を持っている人が過半数である。



【性別】(N=451)

女性が過半数を占める。

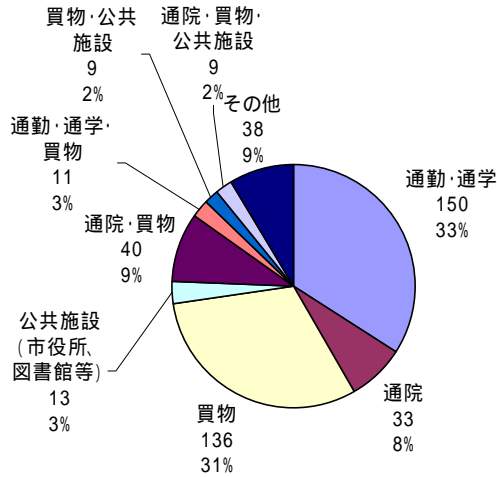




# 1. 日常の外出状況について

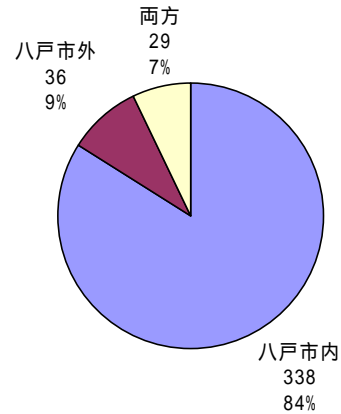
質問 1-1 最も多い外出目的は何ですか (N=439)

通勤・通学、買物が多い。複合目的もある。



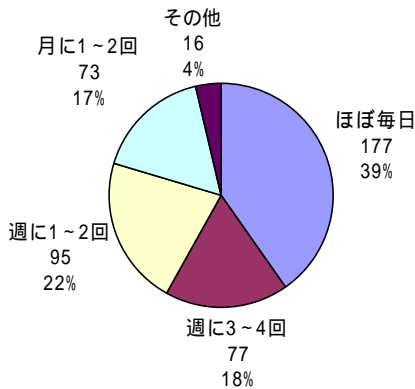
質問 1-2 外出の主な目的地はどこですか (N=403)

八戸市内がほとんどである。



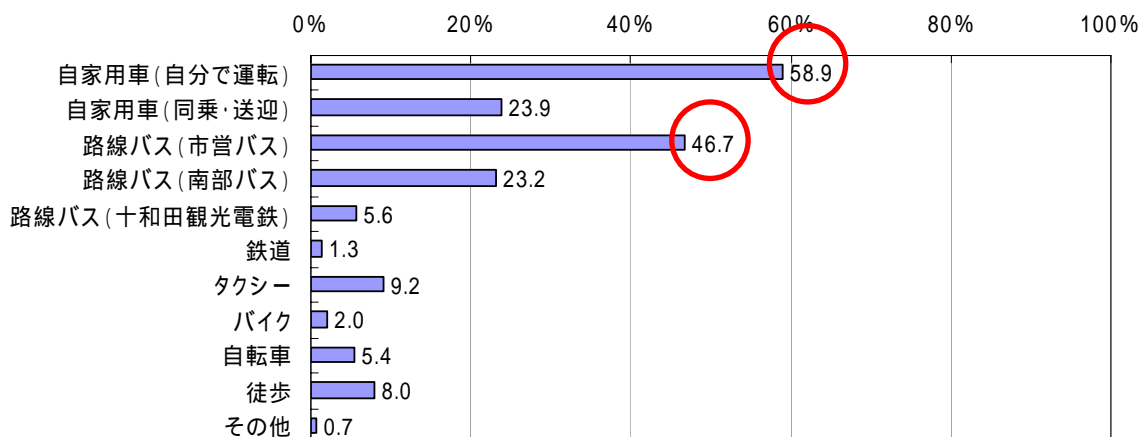
質問 1-3 週に何回くらい外出しますか (N=438)

ほぼ毎日が 39%である。

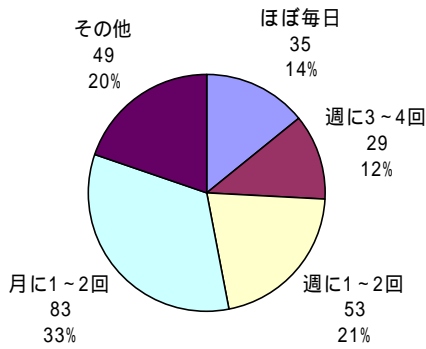


質問 1-4 外出時の主な交通手段を教えてください (複数回答) (N=448)

自家用車の次に路線バスが多い。

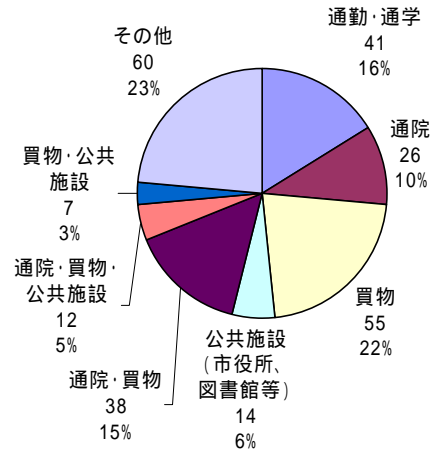


質問 1-5 利用回数をお教えてください (N=249)  
 「月に1~2回」が33%で多い。



質問 1-6 利用するときの目的をお教えてください (N=253)

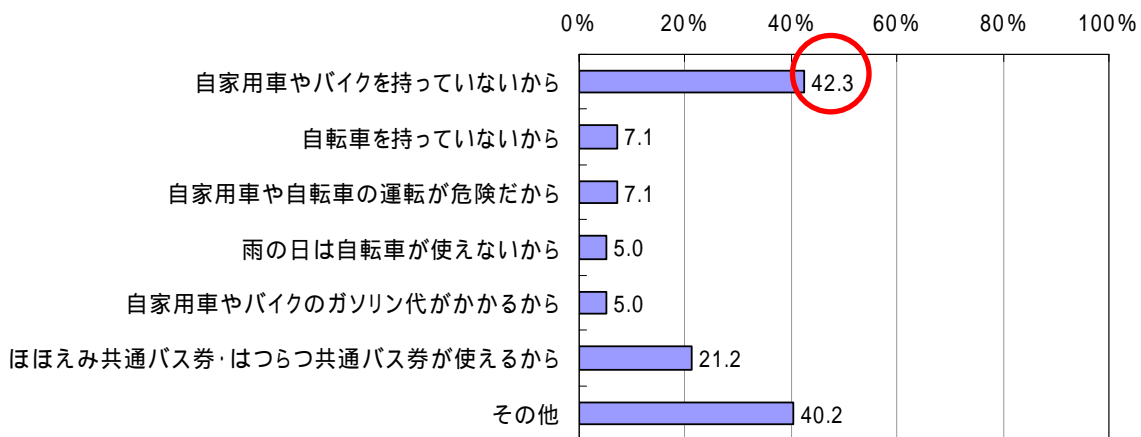
バスの利用目的は「買物」が多い。その他は3つ以上の目的である。



## 2.バスを利用する理由・利用しない理由について

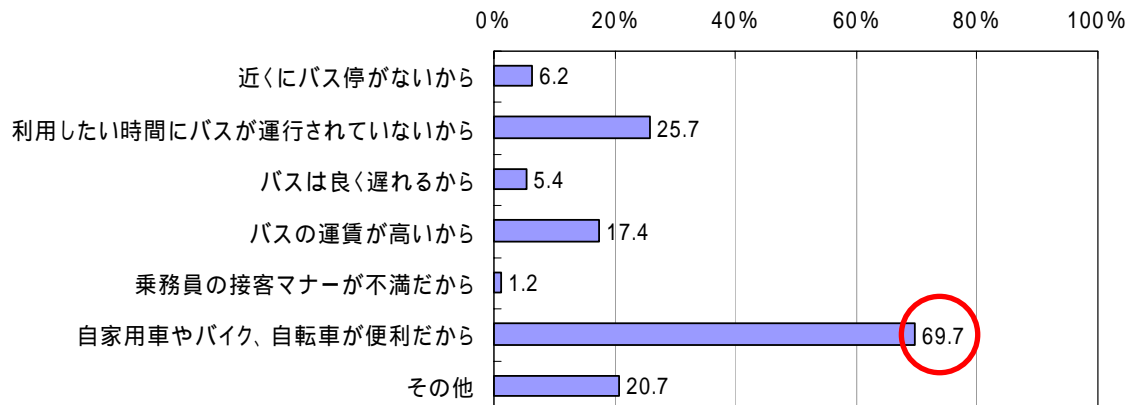
質問 2-1 バスを使うとお答えの方について、その理由についてお伺いします。(複数回答)(N=241)

「自家用車やバイクを持っていない」との回答が最大である。



質問 2-2 バス以外を使うとお答えの方について、その理由についてお伺いします。(複数回答)(N=241)

「自家用車やバイク、自転車が便利だから」との回答が過半数である。

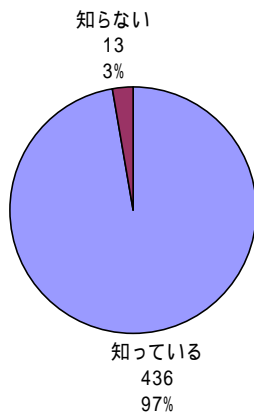


### 3.あなたの自宅近くを通る路線バスについて

質問3 自宅近くを通る路線バスに関して、次のことについて知っていますか

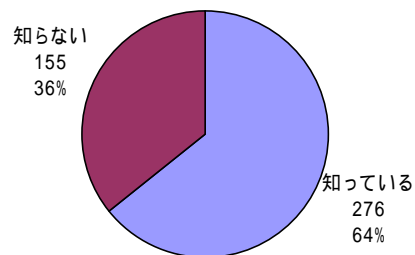
#### 【停留所の場所】(N=449)

停留所の場所はほとんどの人が知っている。



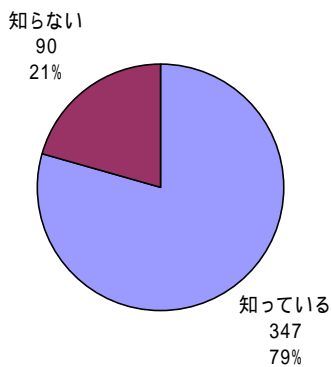
#### 【中心街までの運賃】(N=431)

64%の人が運賃を知っている。



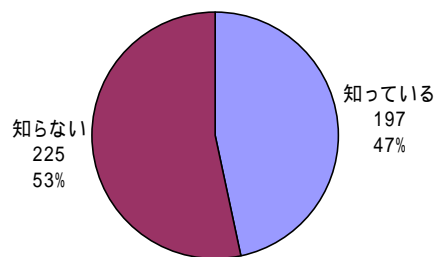
#### 【バスの行き先】(N=437)

バスの行先はほとんどの人が知っている。



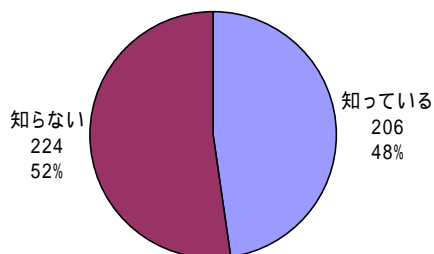
#### 【バスの終発時間】(N=422)

終発時間は知らない人が多い。

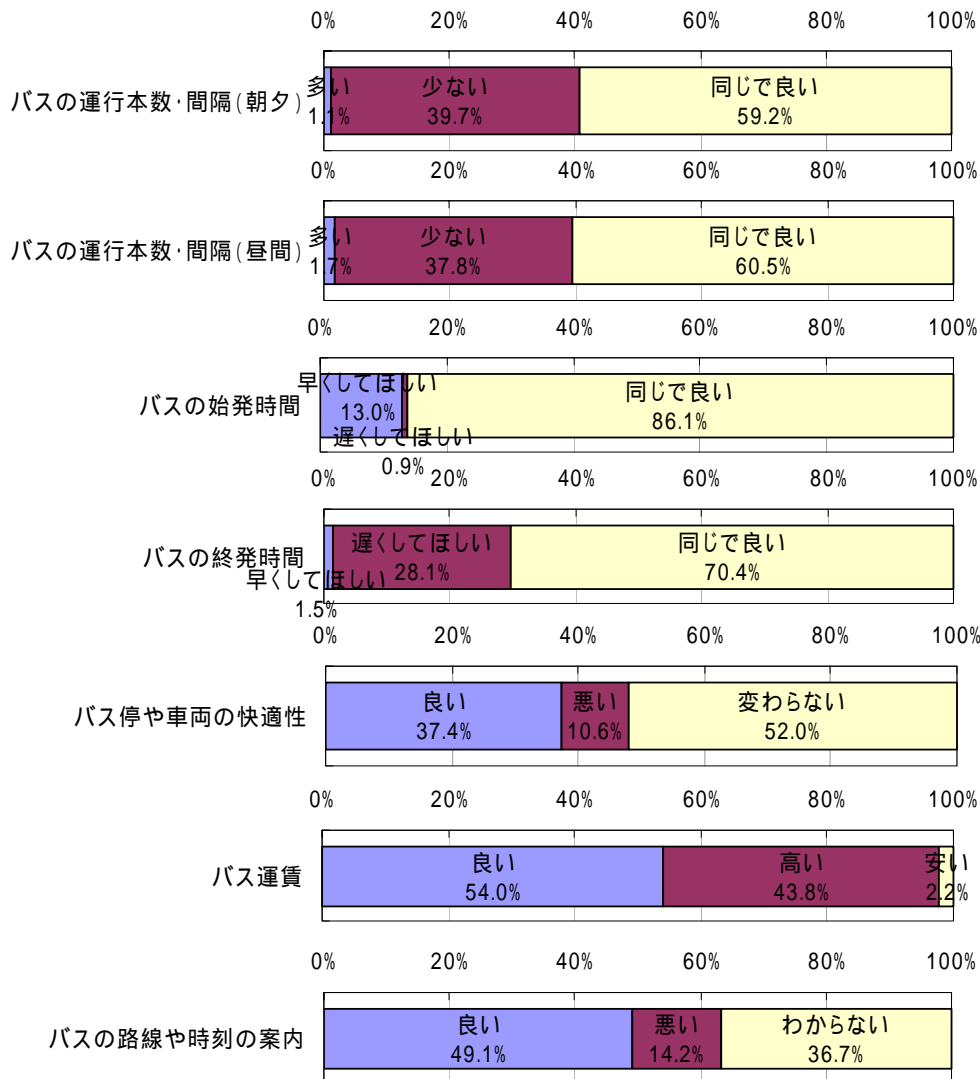


#### 【バスの始発時間】(N=430)

始発時間は知らない人が多い。

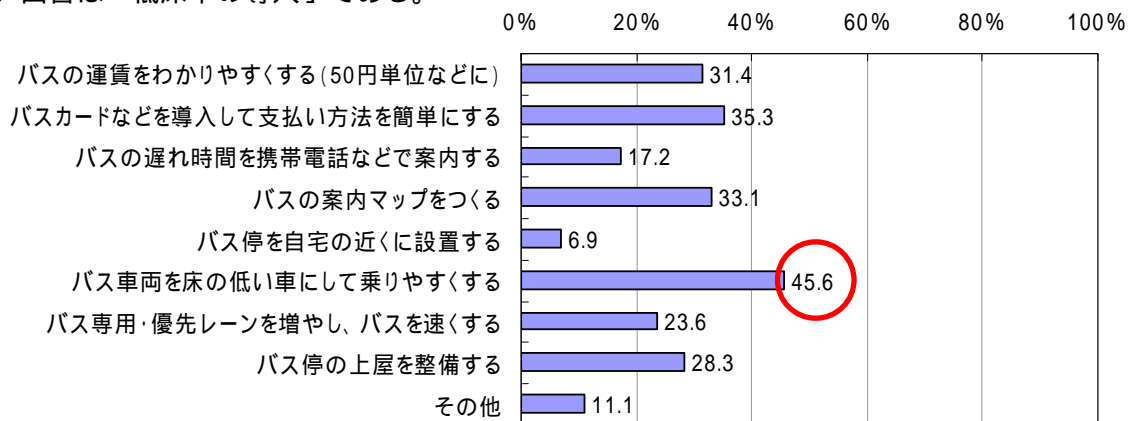


質問4 自宅近くを通るバス路線のサービスについての評価と改善方法についてお伺いします  
 相対的に評価が低いのは「バス路線や時刻の案内」と朝夕の「バスの運行本数」などである。



#### 4.バスの改善方法について

質問5 バスの改善策として良いと思うものを3つまで選んでください(複数回答)(N=360)  
 多い回答は「低床車の導入」である。



・南郷区関係路線沿線アンケート結果

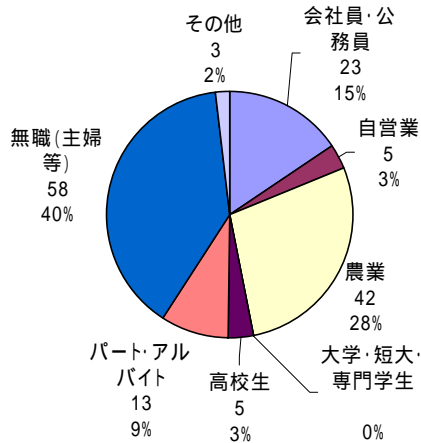
・回収数 152人（回収率 15.2% ： 配布 1,000票）

（封筒ベース回収 91通 ： 回収率 18.2%）

個人属性

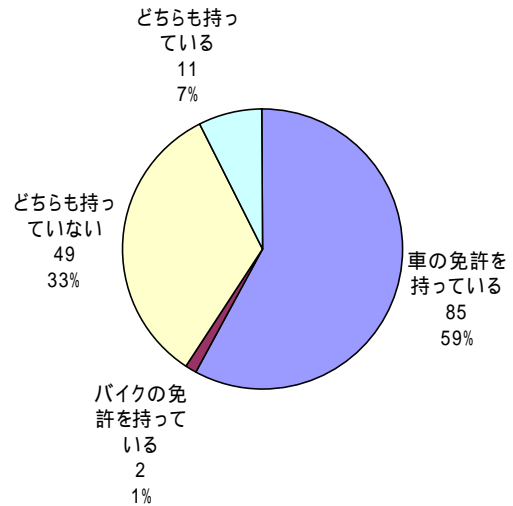
【職業】(N=149)

無職（主婦等） 会社員・公務員の利用が多い。



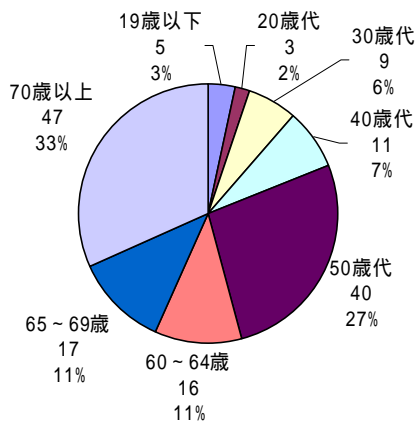
【運転免許の有無】(N=147)

車の免許を持っている人が過半数である。



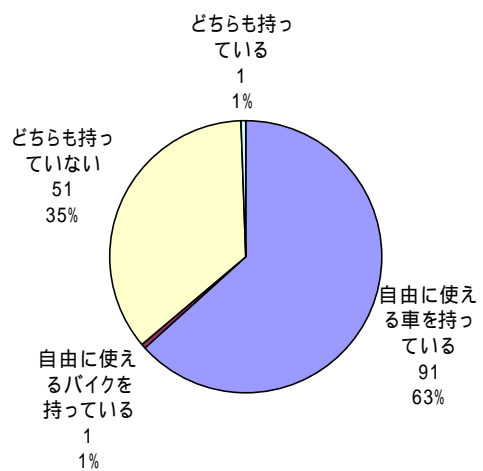
【年齢】(N=148)

70歳以上と50歳代が多い。



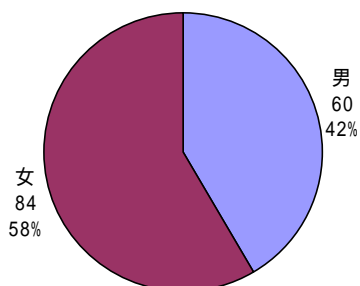
【自由に使える自家用車の有無】(N=144)

自由に使える車を持っている人が過半数である。



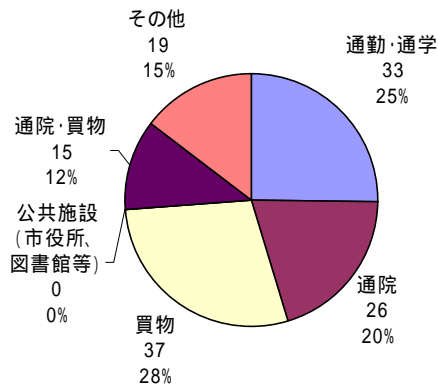
【性別】(N=144)

女性が過半数を占める。



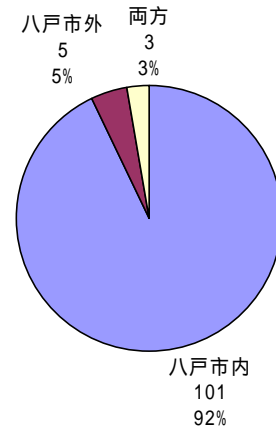
## 1. 日常の外出状況について

質問 1-1 最も多い外出目的は何ですか (N=130)  
買物、通勤・通学が多い。複合目的もある。



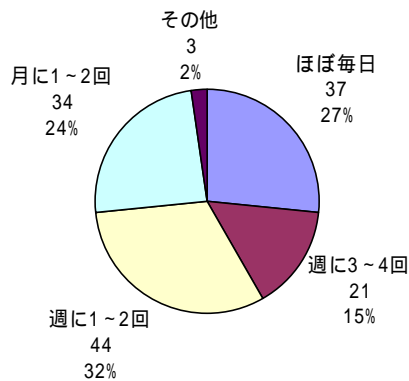
質問 1-2 外出の主な目的地はどこですか (N=109)

八戸市内がほとんどである。



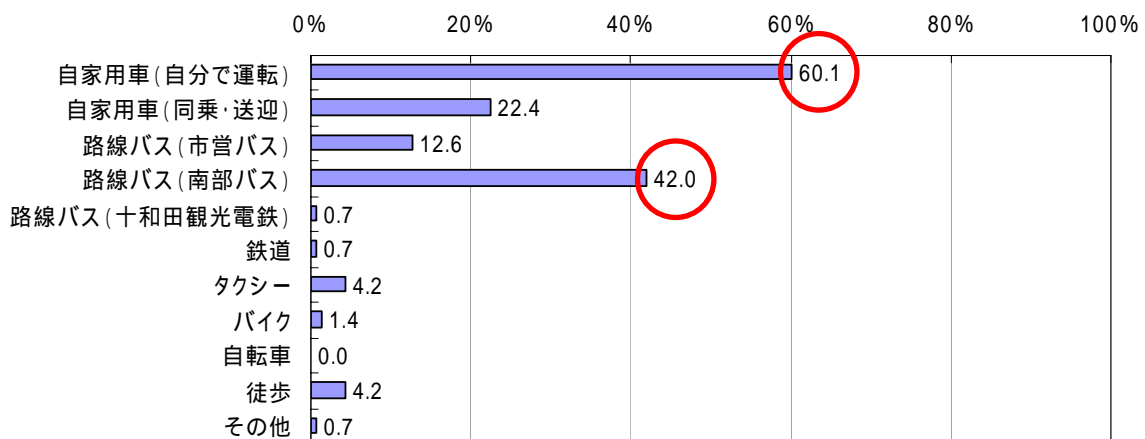
質問 1-3 週に何回くらい外出しますか (N=139)

週に1~2回が32%である。

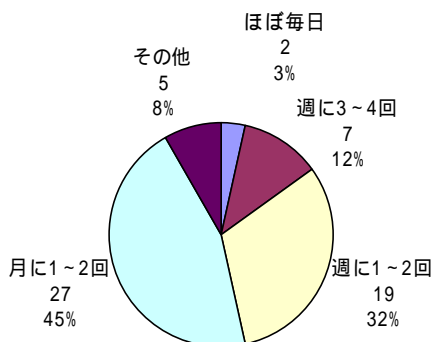


質問 1-4 外出時の主な交通手段を教えてください (複数回答) (N=143)

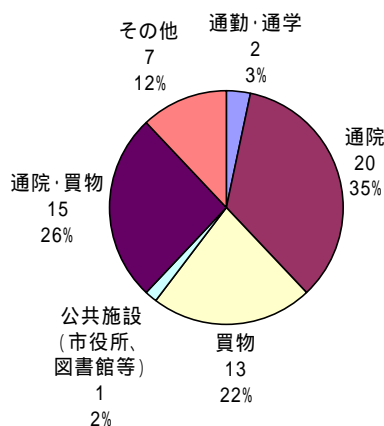
自家用車の次に路線バスが多い。



質問 1-5 利用回数をお教えてください (N=60)  
 「月に1~2回」が45%で多い。

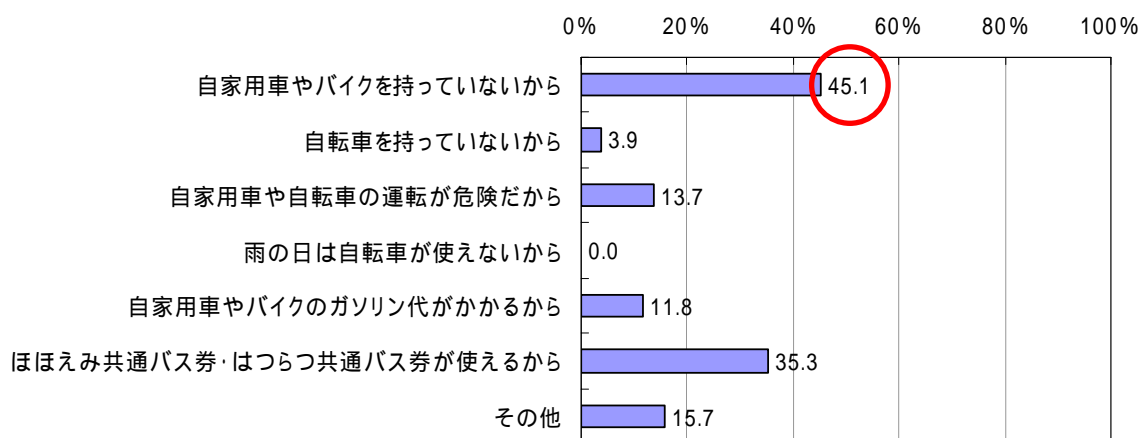


質問 1-6 利用するときの目的をお教えてください (N=58)  
 バスの利用目的は「通院」が多い。その他は3つ以上の目的である。

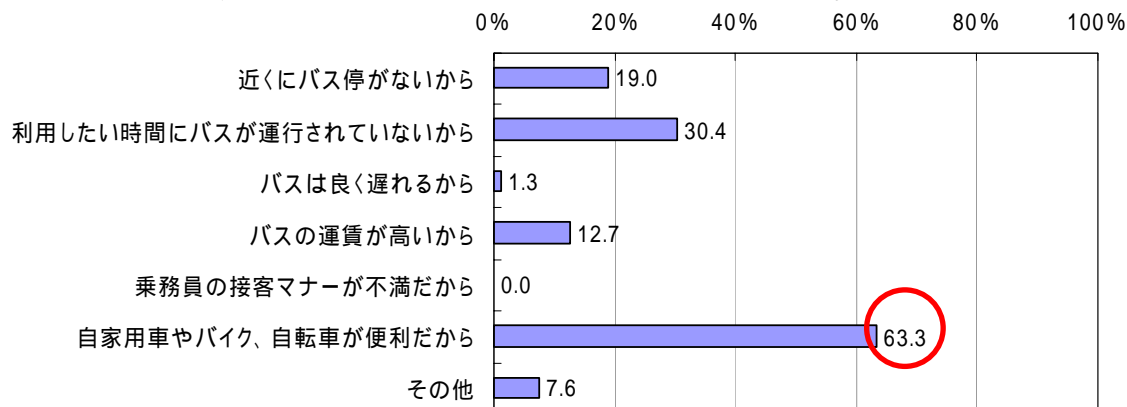


## 2. バスを利用する理由・利用しない理由について

質問 2-1 バスを使うとお答えの方について、その理由についてお伺いします。(複数回答)(N=51)  
 「自家用車やバイクを持っていない」との回答が最大である。



質問 2-2 バス以外を使うとお答えの方について、その理由についてお伺いします。(複数回答)(N=79)  
 「自家用車やバイク、自転車が便利だから」との回答が過半数である。

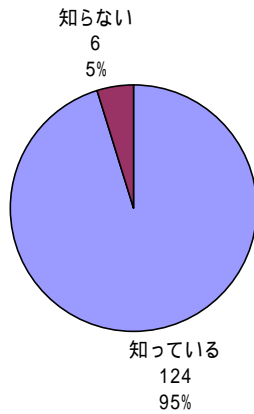


### 3.あなたの自宅近くを通る路線バスについて

質問3 自宅近くを通る路線バスに関して、次のことについて知っていますか

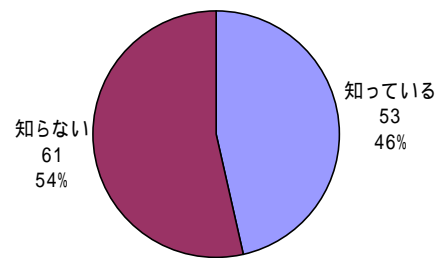
#### 【停留所の場所】(N=130)

停留所の場所はほとんどの人が知っている。



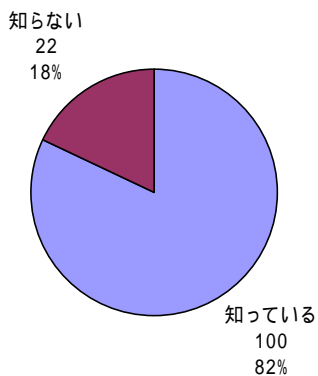
#### 【中心街までの運賃】(N=114)

運賃を知らない人が多い。



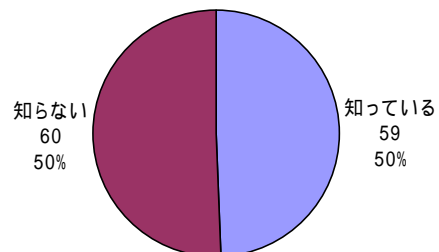
#### 【バスの行き先】(N=122)

バスの行先はほとんどの人が知っている。



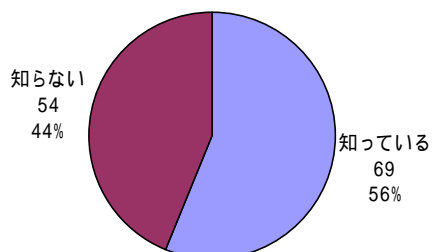
#### 【バスの終発時間】(N=119)

終発時間は知っている人と知らない人が半数である。



#### 【バスの始発時間】(N=123)

始発時間は知っている人が多い。

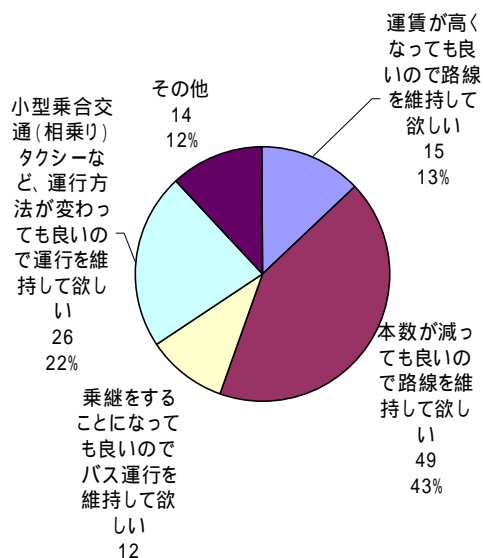




#### 4.バス路線維持方法について

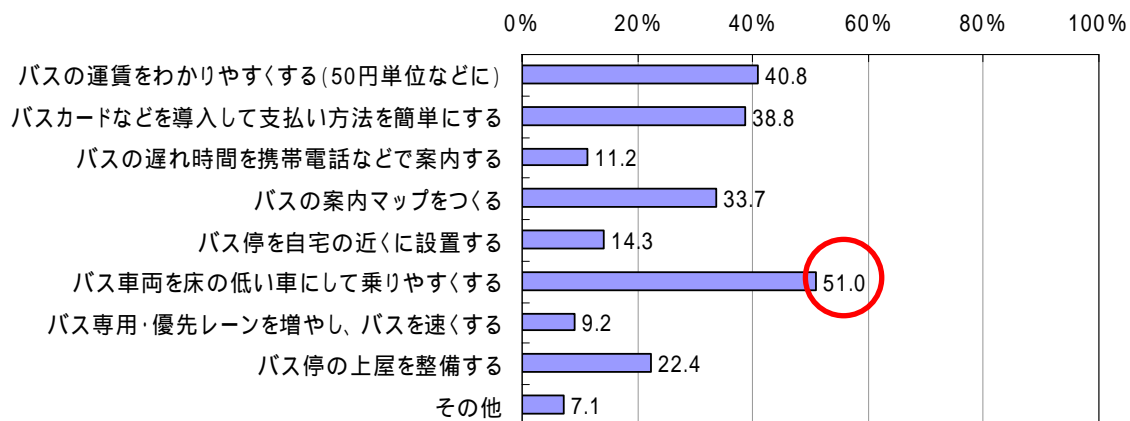
質問5 自宅近くを通るバス路線の運行を維持していく方法としてあなたの考えに近いものを1つ選んで下さい。(N=116)

「本数が減っても良いので路線を維持してほしい」が43%で多い。



#### 5.バスの改善方法について

質問6 バスの改善策として良いと思うものを3つまで選んでください(複数回答)(N=98)  
多い回答は「低床車の導入」である。



## 各調査結果の路線別比較・考察

市民アンケート結果を各路線別に比較し、その特性を比較する。

### 外出時の交通手段

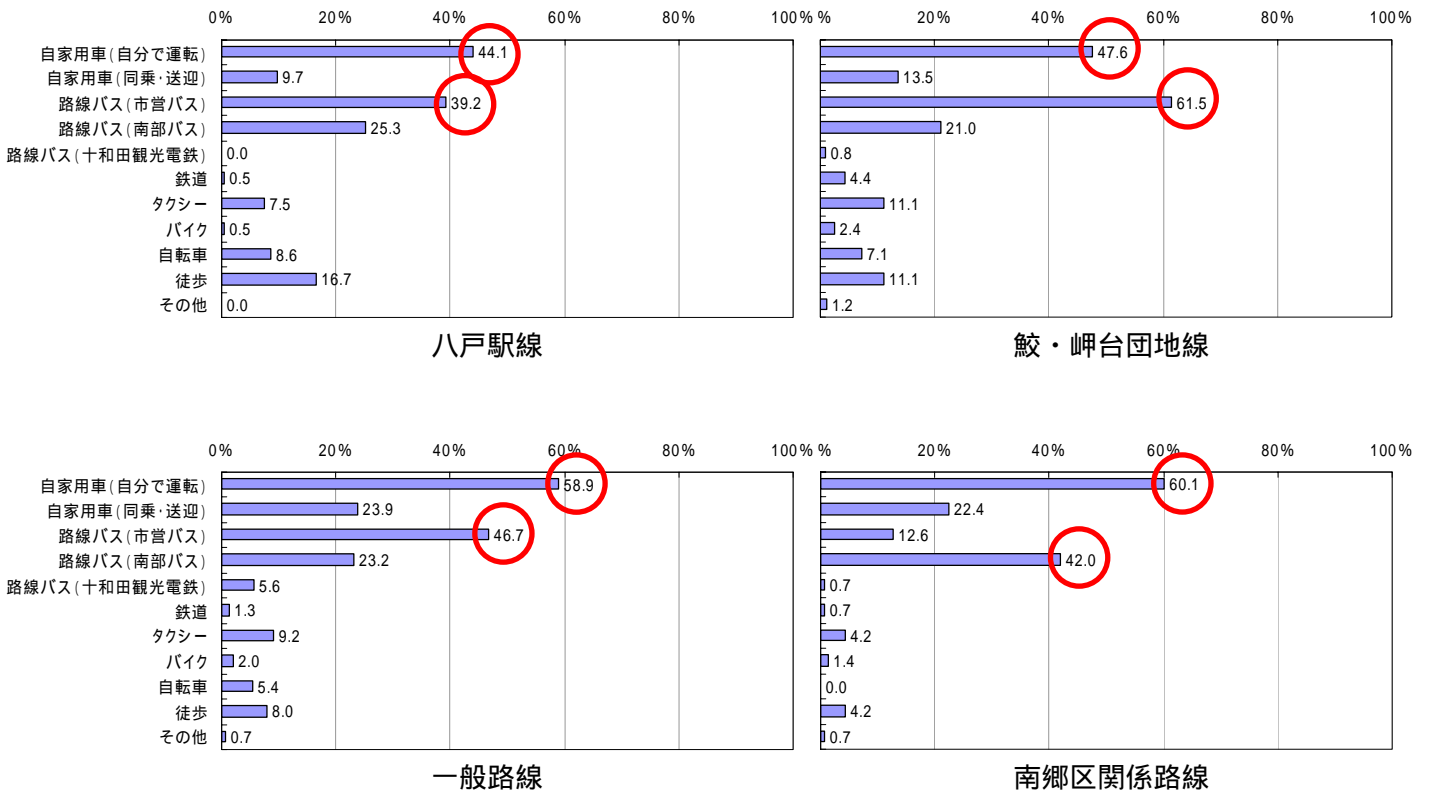
路線バスの利用割合は、鮫・岬台団地線沿線において83.3%と一番高く出ている。一方、同乗送迎を含む、自家用車利用率が高いのは、南郷区関係路線沿線の82.5%、一般路線82.8%と高くなっている。基本的にバス運行本数が多い地区はバス利用比率が高く、そうでない地区は自家用車比率が高い傾向が伺える。

### 3 事業者合計バス利用比率

鮫・岬台団地線 83.3% > 一般路線 75.5% > 八戸線 64.5% > 南郷区関係路線 55.3%

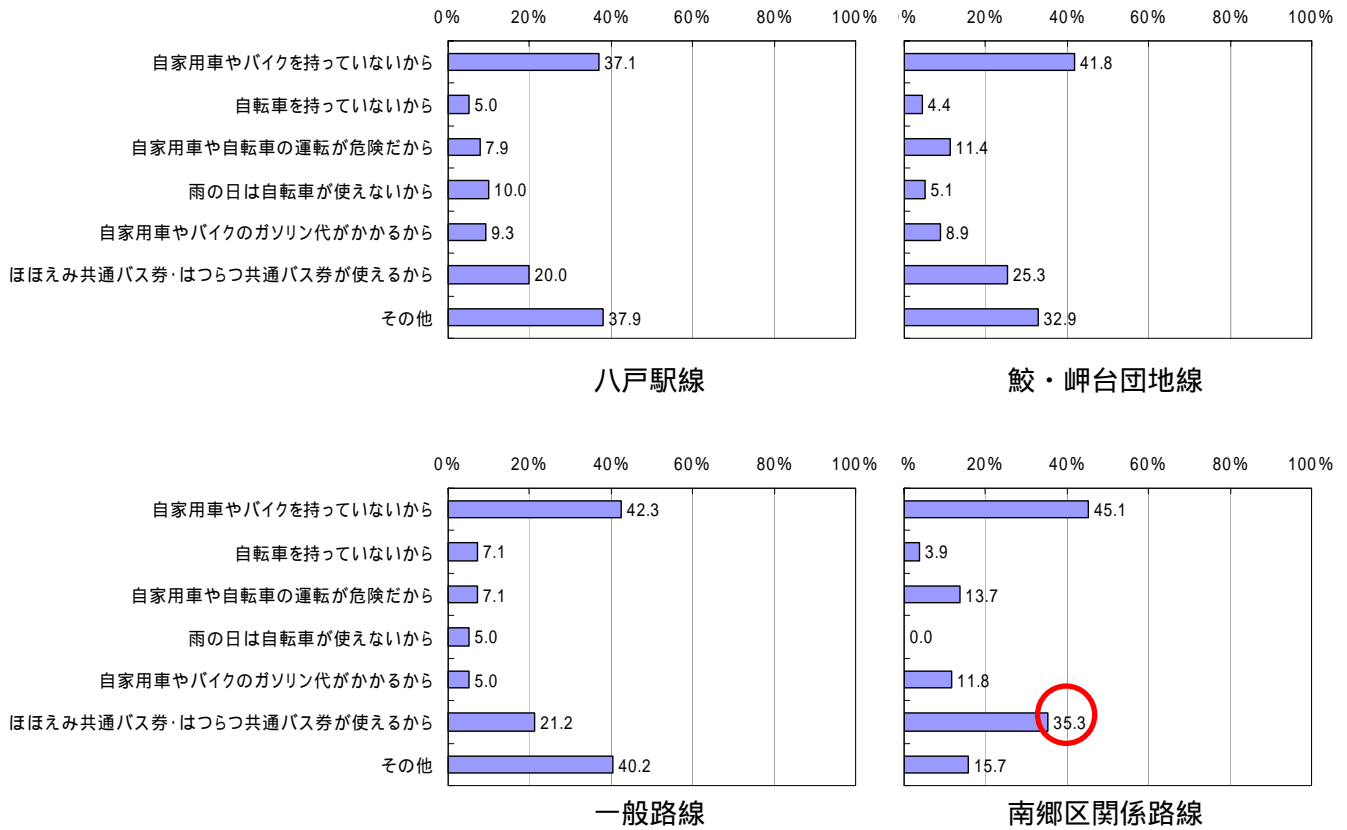
### 自家用車利用率

一般路線 82.8% > 南郷区関係路線 82.5% > 鮫・岬台団地線 61.1% > 八戸線 53.8%



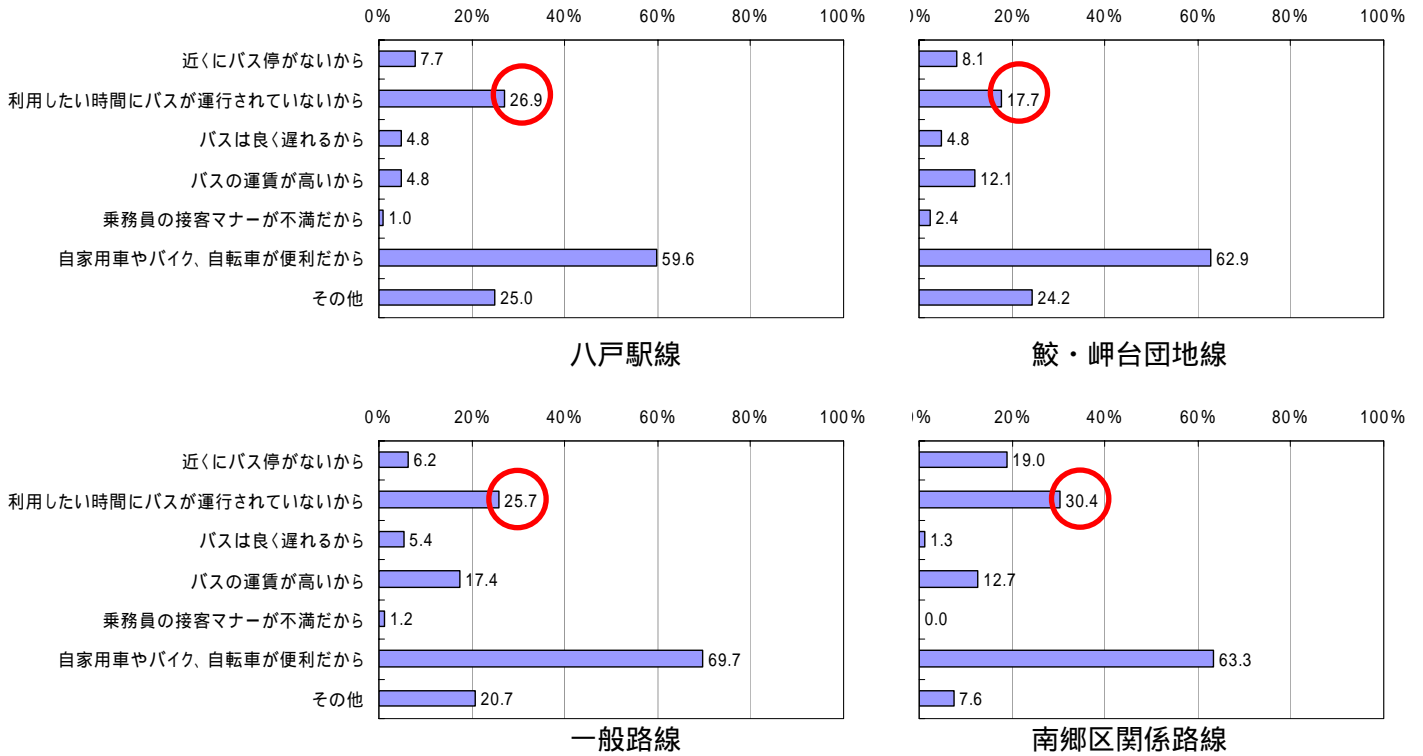
### バスを利用する理由の比較

どの路線沿線も自家用車やバイクを持っていないとの回答が多いが、南郷区関係路線沿線では「ほほえみ共通バス券・はつらつ共通バス券が使えるから」、との回答比率が他線沿線より 10 ポイント以上高い。南郷区は高齢者比率が高いこともあり、福祉乗車証制度利用者が多いと考えられる。



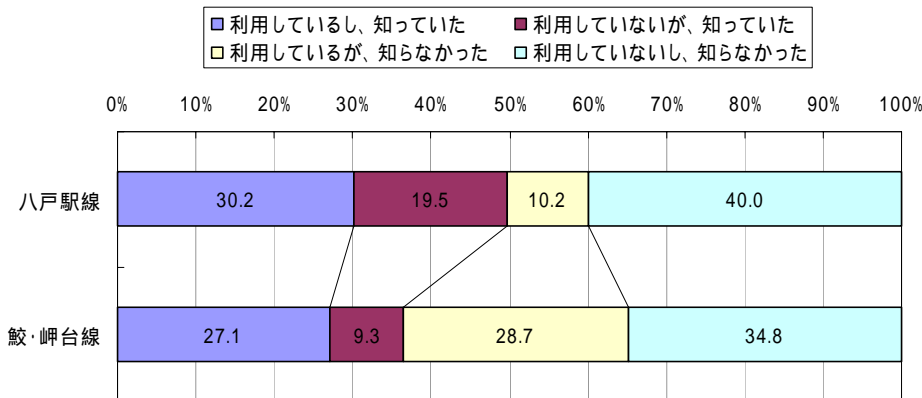
### バスを利用しない理由の比較、考察

バスの非利用理由で、「バスサービスに関する原因」を比較すると、どの路線沿線も利用したい時間にバスが運行されていないから、との回答が多い。特に、運行本数の限られる南郷区関係路線でその比率が高いことより、運行時間帯等についてよく地域と協議する必要がある。



### 等間隔運行の認知状況について

八戸駅線で「知っていた」割合が 50%、鮫・岬台団地線沿線で知っていた割合が 36%である。八戸駅沿線に加え、鮫・岬台団地線沿線での広報・PR が重要と考えられる。



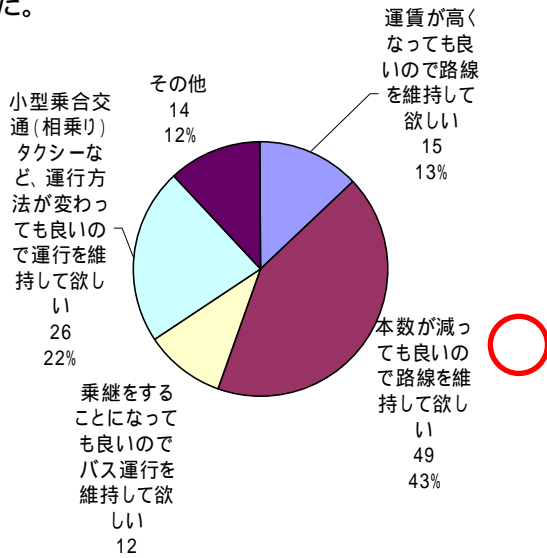
バスサービスの評価と改善方法（南郷区関係路線を除く）

バスの運行本数の満足度を見ると相対的に高いのが鮫・岬台団地沿線である。等間隔運行を行っている八戸駅沿線で以外に満足度が低い状況である。一方、バス運賃については、八戸駅線が他線沿線より、相対的に満足度が高くなっている。バス路線案内や時刻案内でどの路線も良いとの回答は半分程度である。



### バスの維持方針（南郷区関係路線）

南郷区関係路線沿線で尋ねた、バス路線の維持方策として最も多かった回答が「本数が減っても良いので路線を維持してほしい」であった。乗り継ぎや運賃のアップを伴う維持方策については賛成は少なかった。



### バスの改善策

どの地域でも低床車両の導入が最大であった。他に回答が多い項目としては、「バスカードなどの導入により支払い方法を簡単にする」、「バスの案内マップを作る」などの回答が多くみられた。その他では、「バスの運賃をわかりやすくする」は南郷区関係路線で多い。

